

HPE NIMBLE STORAGE dHCI

Storage Solutions for Data Management



新機能

- HPE Nimble Storage dHCIは、HPE Alletra 6000を新たにサポートし、高速で安定したパフォーマンスと業界トップレベルのデータ効率を実現します。
- HPE Nimble Storage dHCIがHPE GreenLakeで利用可能になり、VM as a serviceおよびVDI as a serviceが提供されるようになったため、価値実現時間が短縮されIT管理が簡素化されます。
- HPE Nimble Storage dHCIでは、HPE ProLiant、DL325、DL385、DL560、DL580サーバーのサポートを追加し、サポートされるサーバーのスケールを20ノードから32ノードに拡大しました。
- 既存のHPE ProLiantサーバーをご使用のお客様は、それらの資産の

概要

HPE Nimble Storage dHCIは、枠にとらわれずにHCIを刷新することにより、あらゆるアプリケーションのインフラストラクチャを大幅に簡素化します。ビジネスクリティカルなアプリケーションと混合ワークロードに対応し、アプリケーションの常時稼働と常時高速を保証しながら、ITのアジリティを引き出します。これらを容易に実現できるのは、VM指向のAI主導型運用を採用しているからです。さらに、99.9999% [2] のデータ可用性保証と安定した1ミリ秒未満のレイテンシにより、要求の厳しいアプリケーションとワークロードに最適です。また、コンピューとストレージの柔軟な個別の拡張、および業界屈指のデータ効率によってコスト削減も実現します。さらに、HPE Nimble Storage dHCIは、ハイブリッドクラウド全体のクラウドエクスペリエンスを高めることで、アジリティを最大化します。HPEでは、この卓越したHCIをHCI 2.0と呼んでいます。

寿命を延ばし、既存システムを HPE Nimble Storage dHCIに移行して、自動化と仮想マシンの一元管理を実現できます。

- さらに、ライフサイクル管理が簡素化され、サーバーファームウェア、ハイパーバイザー、およびストレージソフトウェアのソフトウェアアップグレードをワンクリックで統一して実行できるようになりました。

機能

インテリジェントでシンプル

インフラストラクチャではなく、アプリケーションに集中することができます。ハイパーコンバージド制御と HPE InfoSightにより、すべての VM 管理者がこのプラットフォームを簡単に展開、管理、拡張、サポートできるようになります。15分未満でのセルフインストール、VMware vCenterのみでの管理、アプリケーションへの透過的なアップグレードが可能です。[1]

完全な堅牢性

耐障害性に優れた設計センターと予測分析機能により、アプリケーションを停止することなく高速で実行できます。高いパフォーマンスが要求されるアプリケーションと統合のための、ミリ秒未満のレイテンシと高い IOPS。自動化された QoS、高度なデータ整合性、およびクラウドまで拡張されたデータ保護による、99.9999%の可用性。[3]

効率的に拡張可能

オーバースプロビジョニングを排除し、必要なリソースのみを追加することが可能で、運用を中断することなくコンピューティングとストレージを個別に拡張できる柔軟性を備えています。HPE Store More Guaranteeによる業界屈指のデータ効率性により、競合他社のプラットフォームよりも物理ストレージに対してテラバイトあたりに多くのデータを保存できます。[2]



[追加の技術情報、使用可能なモデルとオプションについては、QuickSpecsを参照してください](#)

HPE POINTNEXT SERVICES

HPE Pointnext Servicesは、テクノロジーと専門知識を結集して、お客様のビジネスを前進させ、将来への備えを支援します。

HPE Pointnext Servicesの各種運用サービス

HPE Pointnext Tech Careは、製品に特化した専門家への迅速なアクセス、AI主導のデジタルエクスペリエンス、一般的な技術指導を提供し、継続的なイノベーションを可能にします。より迅速な対応と、より大きな価値を提供するために、ITサポートをゼロから再構築しました。単なる故障の修理とは一線を画しており、より優れた方法を常に探し続けることで、HPE Pointnext Tech Careはビジネス目標の達成にお客様が集中できるようサポートいたします。

HPE Pointnext Complete Careは、総合的なアプローチでIT環境全体を最適化する、エッジからクラウドまでのモジュール式IT環境サービスであり、顧客中心の個人化されたエクスペリエンスを通して、同意されたIT成果とビジネス目標を達成します。これらのサービスはすべて、HPE Pointnext Servicesの専門家チームが担当いたします。

HPE統合およびパフォーマンスサービスでは、個々のニーズ、ワークロード、テクノロジーに基づいたサービスメニューにより、製品ライフサイクルのどの段階でもお客様がユーザーエクスペリエンスをカスタマイズできるようサポートします。

- アドバイス、設計、変革
- 展開
- 統合と移行
- 運用と改善
- 金融サービス
- GreenLake管理サービス
- 廃棄とサニタイズ
- ITトレーニングと自己啓発

その他の関連サービス

HPE Education Servicesは、デジタルトランスフォーメーションに必要なスキルを伸ばそうとしている従業員の皆様の包括的なサービスで支援します。ご不明な点やサポートオプションの詳細については、HPEの営業担当者または認定チャネルパートナーまでお問い合わせください。

Defective Media Retentionは、不具合によってHPEが交換したディスクまたは対象となるSSD/フラッシュドライブを保持できるオプションサービスです。

HPE GREENLAKE

HPE GreenLakeは、IT-as-a-Service市場をリードするHPEのソリューションです。統合型運用モデルにより、データセンター、マルチクラウド、エッジなどの場所を問わず、アプリケーションやデータをハイブリッドクラウドで利用できます。HPE GreenLakeでは、パブリッククラウドサービスとオンプレミスワークロードに対応するインフラストラクチャの両立を、完全管理型の従量制課金モデルで実現します。

ITファイナンスソリューションなどその他のサービスについては、[こちら](#)をご覧ください。

[1] HPE Nimble Storage dHCI - ビジネス向けの分散型ハイパーコンバージド インフラストラクチャ。2019年6月、ESG技術検証 (英語)

<https://h20195.www2.hp.com/v2/Getdocument.aspx?docname=a00075391enw>

[2] HPE Nimble Storage向けHPE Store More Guaranteeによるあらゆる規模での効率性。

<https://h20195.www2.hp.com/v2/getpdf.aspx/a00039975enw.pdf>

[3] HPE Nimble Storageのインストールベースに基づく

© Copyright 2022 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカードエンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

部品/部材: HPEは、保証対象のハードウェア製品の保守に必要となる、HPEがサポートする交換用部品および部材を提供します。

メーカーの操作マニュアル、製品のQuickSpecs、または製品のテクニカルデータシートに記載された、サポートされている最大ライフタイム、最大使用限度、またはその両方に達した部品およびコンポーネントは、このサービスでは提供、修理、または交換されません。

VMware vCenterは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。その他すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

画像は実際の製品と異なる場合があります。
PSN1011825973JPA, July, 2022.

適切な購入決定を行います。
プリセールスのスペシャリストにお問い合わせください。

今すぐチャット

今すぐ共有

アップデートを入手

Hewlett Packard
Enterprise